

# ゴールデンウィークも 家畜伝染病対策を徹底

ゴールデンウィーク直前となりましたが、現在も、家畜伝染病の発生リスクの高い状況が続いています。

高病原性鳥インフルエンザは、今シーズン、9県で10事例発生し、道内で回収された死亡野鳥における感染は71事例で、過去最多となりました。

豚熱は、道外で野生いのししを介した感染地域の拡大が続いています。

アフリカ豚熱、口蹄疫は、近隣国で発生が継続しており、国内への侵入リスクは依然として高い状況です。

家畜・家きん飼養農場におきましては、警戒を緩めずに、発生予防対策の徹底をお願いします。

## ～家畜伝染病の発生予防対策～

- 1 飼養衛生管理基準の遵守徹底
- 2 口蹄疫・アフリカ豚熱等の発生地域等への渡航自粛
- 3 農場への関係者以外の立入禁止、野生動物の侵入防止
- 4 人、車両、物品の消毒等、農場への病原体の持ち込み防止
- 5 健康観察と異状の早期発見、早期通報

(閉庁日の当所への通報は下記のとおり)

北海道空知家畜保健衛生所

☎0126-22-4212  [www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/](http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/)

時間外、閉庁日の緊急通報は、空知総合振興局 ☎0126-20-0200(繋がるまで呼び出してください)